

大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の検討状況について

本市では、児童・生徒の学校教育環境の整備を図るため、小規模化した学校の再編整備を推進している。小学校の再編についての次期計画を策定するに当たり、「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画」（以下「第2期実施計画」という。）における進捗整理及び今後の小学校の再編整備のあり方について、「大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会」に諮問を行った。

同検討委員会では、進捗整理を行う事項（白川小学校と平原小学校の再編、小規模特認校制度）及び今後の小学校の再編整備のあり方について、様々な観点から慎重に審議が行われている。

1. 検討委員会の検討状況

(1) 会議の開催状況

令和7年7月30日 第1回検討委員会の開催、検討委員会への諮問
9月26日 第2回検討委員会の開催

(2) 協議内容（主な意見）

ア. 白川小学校と平原小学校の再編

- ・小規模校では人数が少ないので、先生たちの目は届いていた。
- ・少人数になると目が行き届きやすいし、子どもの学習指導も細かくできる。
- ・1学年1学級の学校はクラス替えがないので、子どもたちはお互いこの人はこんな人という固定観念があり、切磋琢磨する雰囲気生まれにくい。
- ・教師の数が少なく、学年同士の相談等ができないことは不安。先生1人の業務量も多くなっているため、子どもと向き合う時間を作るのにも工夫がいる。
- ・白川・平原小学校を先に再編し、数年のうちにまた再編となれば、学校現場として、特に子どもたちの負担になるのではないか。全市的に小規模化が進んでいるのであれば、白川・平原小の再編を先行するのではなく、全市的に考えていくのがいいのではないか。

イ. 小規模特認校制度について

- ・複式学級の担任は、通知表作成や家庭訪問等の業務は少ないが、1つの教室で2学年が背中合わせに座り、前と後ろの黒板を使って授業を同時に行ったり、音楽や図工は2年間で2学年の学習ができるよう教育課程を編成するため、日頃の授業の準備はすごく苦労した。
- ・小規模校だと目が行き届き、丁寧に学習指導ができるというメリットもあるが、今の子どもたちの学習は、ある程度の人数が集まり自分の考えを出し合う中で、学びが広がったり深まったりするという対話を大事にしている。

- ・小学校では、4～6年生で、縦の繋がりを大事にしたクラブ活動を年に10時間ほどしているが、人数が少ないとクラブの数が少なく選ぶこともできない。同じ公立学校に通う子どもたちとして、教育環境に差がでることはよくないと考える。適正規模の12～18学級があれば、どの学校に通っても子どもたちが同じ教育環境の中で育っていくことができる。
- ・小規模化した学校が今後複式学級になることがないように、子どもたちのことを考えて、ある程度の規模の中で育っていく大切さを丁寧に説明しながら、ご理解をいただくことが大切と思う。小さな学校ができるのではなく、全市的にある程度の規模の学校を作っていくという考え方で、早急に整備をしていく必要があるのではないかと懸念する。
- ・上内小学校は、令和7年度の在籍児童数60人のうち40人が特認校児童である。小学校の教育環境を守るために非常に重要な役割を果たしているのではないかと懸念する。児童や保護者は少人数指導の制度に魅力を感じて、特認校に来ていたことが見て取れる。特認校制度を継続しない場合、特認校児童の居場所がなくなってしまうのではないかと懸念する。

ウ. 今後の小学校の再編整備のあり方について（第3回の会議で検討予定）

今後は全市的な小学校の再編について検討し、新たな小学校の再編整備計画を策定する必要があるという共通認識のもと、第3回会議において次の事項を具体的に検討する。

- ①新たな小学校の再編整備計画の策定期間及び計画期間
- ②適正規模・適正配置の考え方
- ③学校の急速な小規模化に合わせて、スピード感をもった再編が必要な場合の再編の手法
- ④再編した学校が再び再編対象となる場合の再編の手法

2. 今後のスケジュール（予定）

令和7年11月	5日	第3回検討委員会の開催
	11月27日	第4回検討委員会の開催
	12月下旬	検討委員会からの答申
	12月下旬	教育委員会への答申報告
令和8年	1月	市議会（市民教育厚生委員会）に答申内容等を報告
	1月	答申内容等の説明（対象校区の保護者、地域）
令和8年度		庁内で全市的な小学校再編に伴う諸課題の整理
令和9年度		全市的な小学校再編整備計画策定について、検討委員会を設置し諮問
令和10年度		小学校の再編整備計画策定



教 総 第 2 3 6 号

令和 7 年 7 月 3 0 日

大牟田市立学校

適正規模・適正配置検討委員会委員長 様

大牟田市教育委員会



大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画に係る
進捗整理及び今後の小学校の再編整備のあり方について（諮問）

標記の件について、下記のとおり理由を付して諮問します。

記

1 諮問事項

大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画に係る進捗整理及び今後の小学校の再編整備のあり方について

2 諮問理由

本市では、児童・生徒の学校教育環境の整備を図るため、小規模化した学校の再編整備を推進しており、現在は令和元年 1 1 月策定の「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第 2 期実施計画（令和 3～9 年度）」（以下「第 2 期実施計画」という。）に基づき、中学校の再編整備に取り組んでおります。

一方、小学校の再編については、次期計画で改めて策定することとし、令和 7 年度に検討委員会を設置し、検討を行うこととしています。

近年、子どもの出生数は加速度的に減少しており、令和 6 年度は 5 0 0 人を下回っています。また、児童生徒数の推計等から、今後も小・中学校の小規模化の進行が見込まれ、令和 1 3 年度には、1 9 小学校中 1 6 校が適正規模に満たない小規模校になると想定しています。

そこで、第 2 期実施計画に係る進捗整理を行うとともに、今後の小学校の再編整備のあり方について、諮問を行うものです。

（1）第 2 期実施計画に係る進捗整理

ア 白川小学校と平原小学校の再編

平成 2 6 年 3 月策定の「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画」では、白川小

学校と平原小学校について、全市的な小学校再編より先行して再編することとしていました。しかし、平原小学校の児童数が増え、学級数が一定規模で維持されることとなったことから、令和5年度に第2期実施計画の進捗整理を行い、先行して再編することなく第2期実施計画のとおり令和7年度に検討委員会で検討することとしました。

そのため、今後の児童数の推計等を踏まえ、両校の再編計画について整理が必要です。

イ 小規模特認校制度

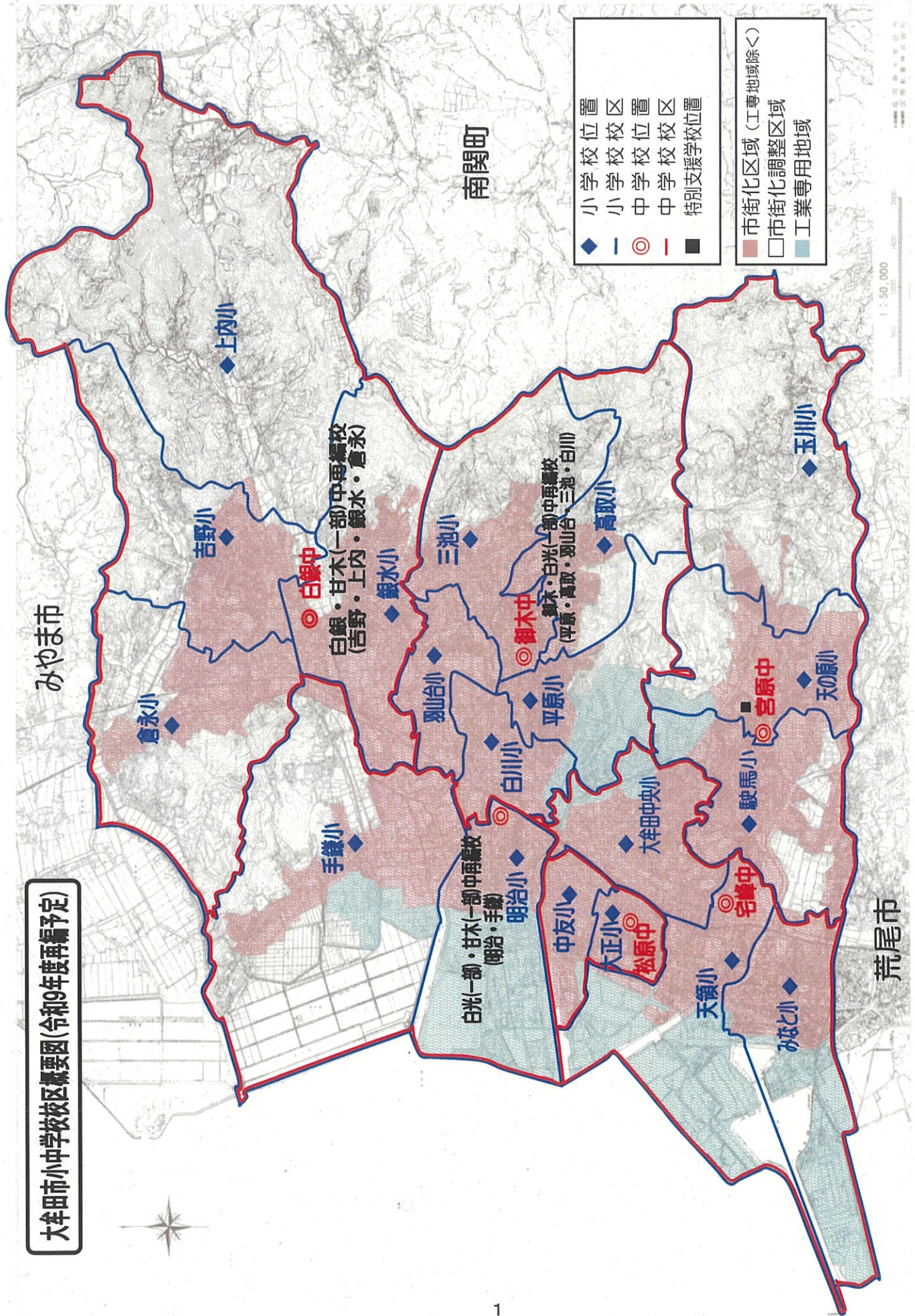
小規模化が進み複式学級編制が見込まれる上内小学校と玉川小学校について、複式学級の回避策として、小規模特認校制度を導入しています。しかし、小規模特認校制度の導入によっても、今後さらに学校の小規模化が進み、複式学級の発生が見込まれることから、小規模特認校制度並びに学校再編のあり方について、改めて整理が必要です。

(2) 今後の小学校の再編整備のあり方について

第2期実施計画では、小学校の再編は次期計画で改めて策定することとし、令和7年度に検討委員会を設置し検討を行うこととしています。小学校は、児童の学習の場であるとともに、本市の地域コミュニティは小学校単位で形成されており、行政全般で市民生活と密接に関連しています。そのため、市内全域を対象とする新たな小学校の再編計画の策定に当たっては、よりよい教育環境の確保に向けた観点を中心にしながら、地域の地理的条件や実情等、様々な観点から検討が必要です。

そこで、今後の小学校の再編整備のあり方について、諮問を行うものです。

大牟田市小中学校校区概要図(令和9年度再編予定)

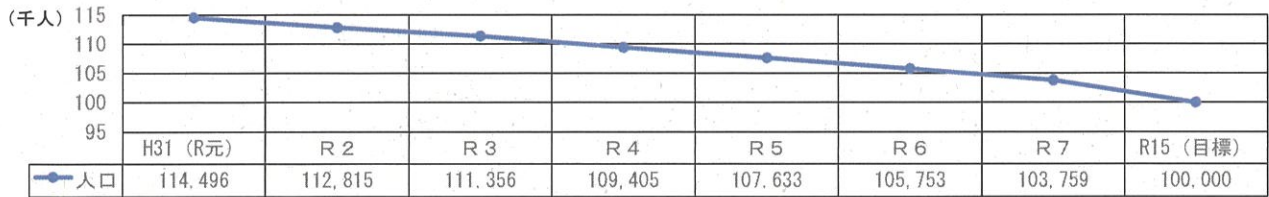


1 : 50,000

大牟田市の人口推移

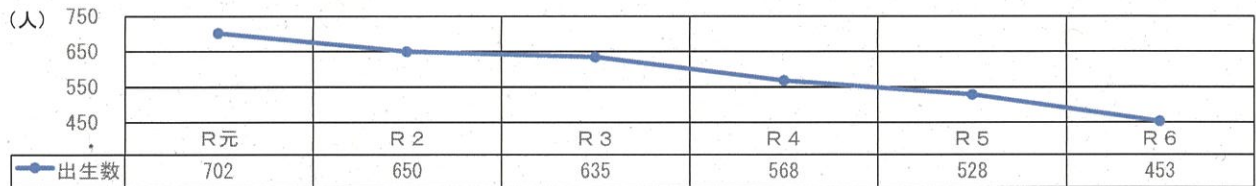
①大牟田市住民基本台帳より

【4月1日現在の人口】 令和7年：平成31年（令和元年）比 Δ9.4%



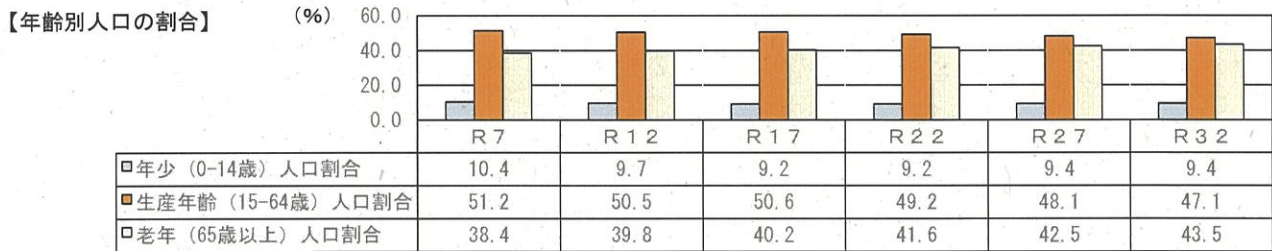
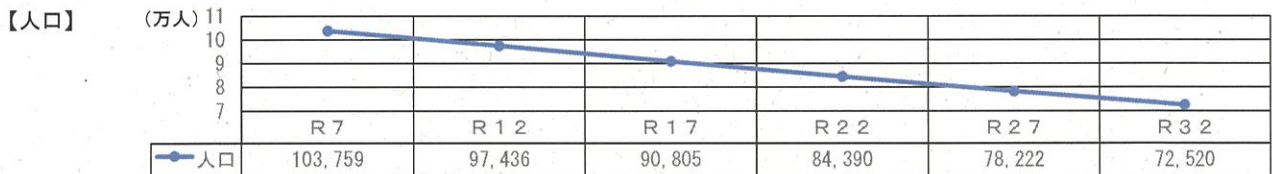
※令和15年・・・総合計画の目標人口

【出生数】 令和6年度：令和元年度比 Δ35.5%



②国立社会保障・人口問題研究所の推計

『日本の市区町村別将来推計人口』（令和5年推計）より（令和7年度は大牟田市住民基本台帳（4月1日現在）による実績）



(参考) (単位：人)

	R 7	R 1 2	R 1 7	R 2 2	R 2 7	R 3 2
年少(0-14歳)人口	10,831	9,481	8,332	7,794	7,335	6,845
生産年齢(15-64歳)人口	53,074	49,177	45,945	41,496	37,628	34,148
老年(65歳以上)人口	39,854	38,778	36,528	35,100	33,259	31,527

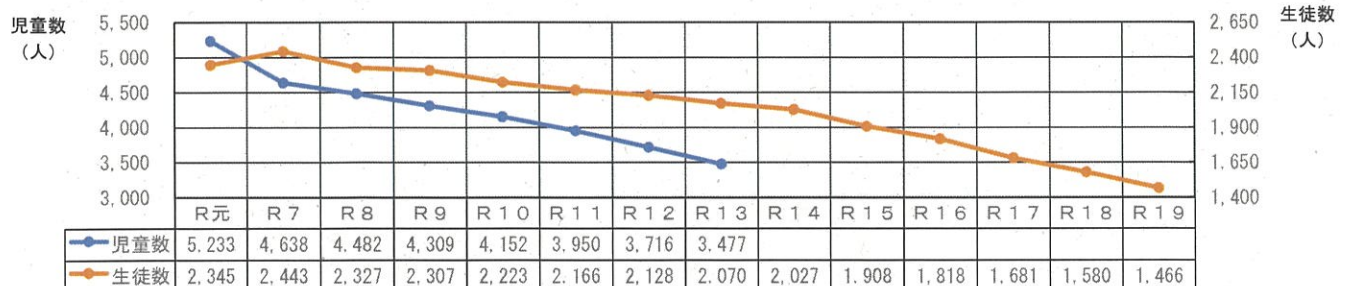
大牟田市立小・中学校における児童生徒数の推移

5月1日現在の学校基本調査より（令和8年度以降は推計）

※住民基本台帳に基づき、小学校（児童数）は令和13年度まで、中学校（生徒数）は令和19年度まで推計

【児童数】 令和13年度：令和元年度比 Δ33.6%

【生徒数】 令和19年度：令和元年度比 Δ37.5%



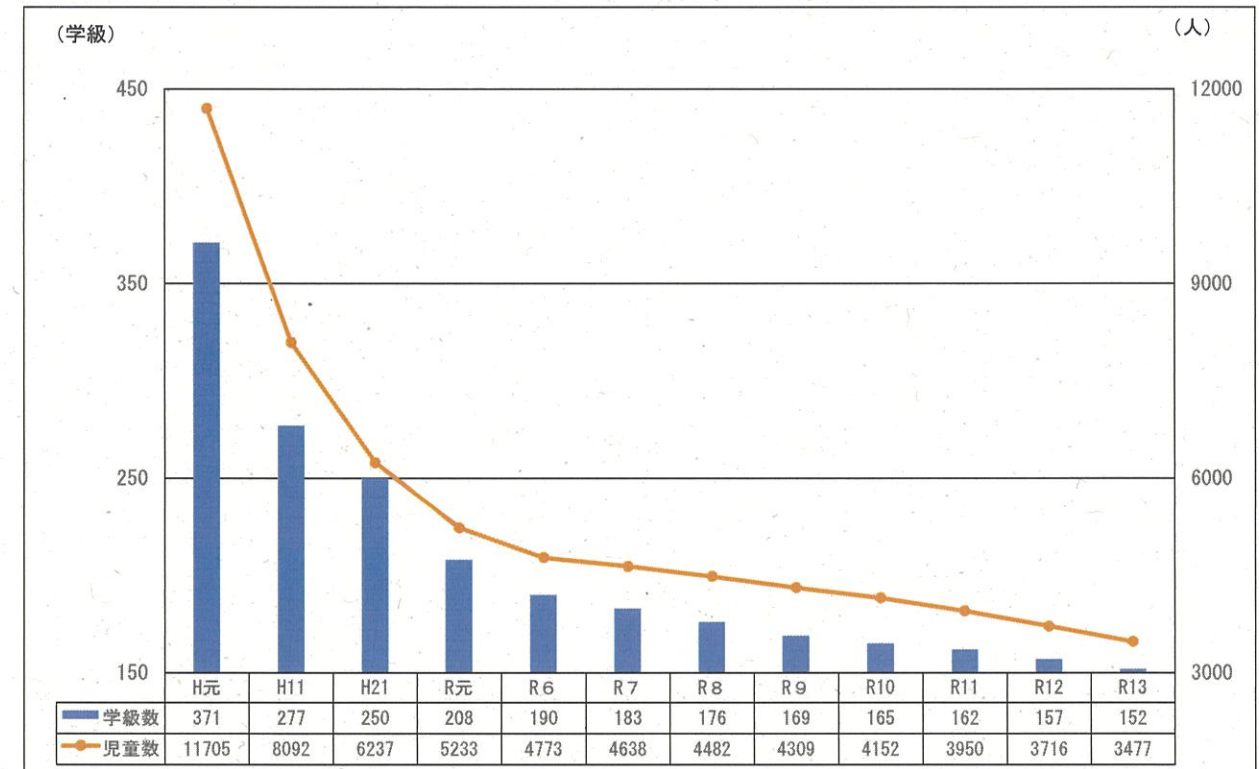
大牟田市立小学校における学級数及び児童数の推移

(学級編制については、平成25年度は4年生まで、平成26年度は5年生まで、平成27年度以降は全学年35人学級)

※特別支援学級の設置数は含まない。
 ※平成元年度から令和7年度までは、それぞれの年度における「5月1日標準学級に関する調査」による実数。
 ※令和8年度以降は、令和7年度「5月1日標準学級に関する調査」による推計。

学校名	年度			H元	H11	H21	R元	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13											
	学級数	児童数	児童数																							
1 みなと	学級数	—	—	14	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10											
	児童数	—	—	331	249	271	258	257	256	258	234	234	234	231												
三 里	学級数	9	7	※ 平成18年4月に三里小学校と三川小学校を再編し、みなと小学校を開校した																						
	児童数	222	201																							
三 川	学級数	18	13																							
	児童数	574	330																							
2 天 領	学級数	—	—														—	17	15	14	13	11	10	9	8	7
	児童数	—	—														—	450	404	394	363	314	295	265	224	184
川 尻	学級数	15	12	10	※ 平成22年4月に諏訪小学校と川尻小学校を再編し、天領小学校を開校した																					
	児童数	442	289	239																						
諏 訪	学級数	13	7	6																						
	児童数	310	182	52																						
3 駿 馬	学級数	—	—	—											12	10	9	9	8	8	7	7	7			
	児童数	—	—	—											273	253	249	229	219	218	195	181	166			
駿馬南	学級数	12	10	7	※ 平成30年4月に駿馬南小学校と駿馬北小学校を再編し、駿馬小学校を開校した																					
	児童数	405	276	145																						
駿馬北	学級数	14	11	6																						
	児童数	462	267	182																						
4 天の原	学級数	—	—	—											11	7	6	6	6	6	6	6	6			
	児童数	—	—	—											251	204	179	180	174	163	153	136	130			
笹 原	学級数	12	10	7	※ 平成25年4月に天道小学校と笹原小学校を再編し、天の原小学校を開校した																					
	児童数	348	278	172																						
天 道	学級数	6	6	6																						
	児童数	165	127	87																						
5 玉 川	学級数	12	7	6											6	6	6	5	5	4	4	4	4			
	児童数	335	195	88											73	58	53	48	45	42	41	36	35			
6 大牟田中央	学級数	—	—	—	13	12	13	13	12	12	12	12	12													
	児童数	—	—	—	396	388	375	384	365	368	363	351	338													
上 官	学級数	11	6	7	※ 平成28年4月に上官小学校と大牟田小学校を再編し、大牟田中央小学校を開校した																					
	児童数	307	128	93																						
大牟田	学級数	18	12	14																						
	児童数	606	426	383																						
7 大 正	学級数	17	12	13											12	12	12	11	11	11	10	10	9			
	児童数	556	349	378											360	264	247	239	227	229	212	217	208			
8 中 友	学級数	13	9	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6													
	児童数	418	239	185	143	139	136	135	132	125	120	119	109													
9 明 治	学級数	16	12	9	10	9	10	10	9	9	10	9	8													
	児童数	495	298	226	209	220	227	226	215	213	215	201	182													
10 白 川	学級数	18	13	13	12	11	10	10	10	10	11	10	10													
	児童数	582	418	343	318	308	291	280	270	255	272	255	249													
11 平 原	学級数	19	12	11	7	7	6	6	6	6	6	6	6													
	児童数	631	357	239	154	144	131	132	137	129	133	127	120													
12 高 取	学級数	22	13	12	9	6	6	6	6	6	6	6	6													
	児童数	675	373	287	215	144	140	135	123	122	105	90	87													
13 三 池	学級数	22	17	14	12	12	12	12	11	11	11	11	10													
	児童数	688	517	443	354	314	313	315	297	296	273	265	242													
14 羽山台	学級数	18	12	16	12	12	11	10	10	9	8	7	7													
	児童数	608	421	437	311	278	272	242	242	211	196	176	163													
15 銀 水	学級数	22	22	20	17	16	15	14	14	13	13	12	12													
	児童数	752	744	588	447	434	431	412	412	383	370	343	320													
16 上 内	学級数	7	6	6	6	5	6	5	4	4	3	3	3													
	児童数	180	110	61	62	59	60	55	44	36	27	20	15													
17 吉 野	学級数	18	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	11													
	児童数	614	509	445	371	314	321	305	295	282	271	264	240													
18 倉 永	学級数	12	12	12	8	7	6	6	6	6	6	6	6													
	児童数	433	357	289	199	180	169	165	163	158	142	127	123													
19 手 鎌	学級数	27	21	20	14	14	13	12	12	12	12	12	12													
	児童数	897	701	544	398	397	392	380	379	369	363	350	335													
合計	年 度	H元	H11	H21	R元	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13													
	学級数	371	277	250	208	190	183	176	169	165	162	157	152													
	児童数	11,705	8,092	6,237	5,233	4,773	4,638	4,482	4,309	4,152	3,950	3,716	3,477													

学級数と児童数の推移



「5月1日標準学級に関する調査」による推計

※推計は、住民基本台帳による学齢児童数及び出生児童数に基づき算出している。

※学級数が5学級以下になると、複式学級編制(2学年で1学級)となる。

※上内小学校は平成24年度、玉川小学校は令和5年度から、小規模特認校制度を導入している。

※小川町は、令和9年4月に入学する児童から大正小学校区として推計している。

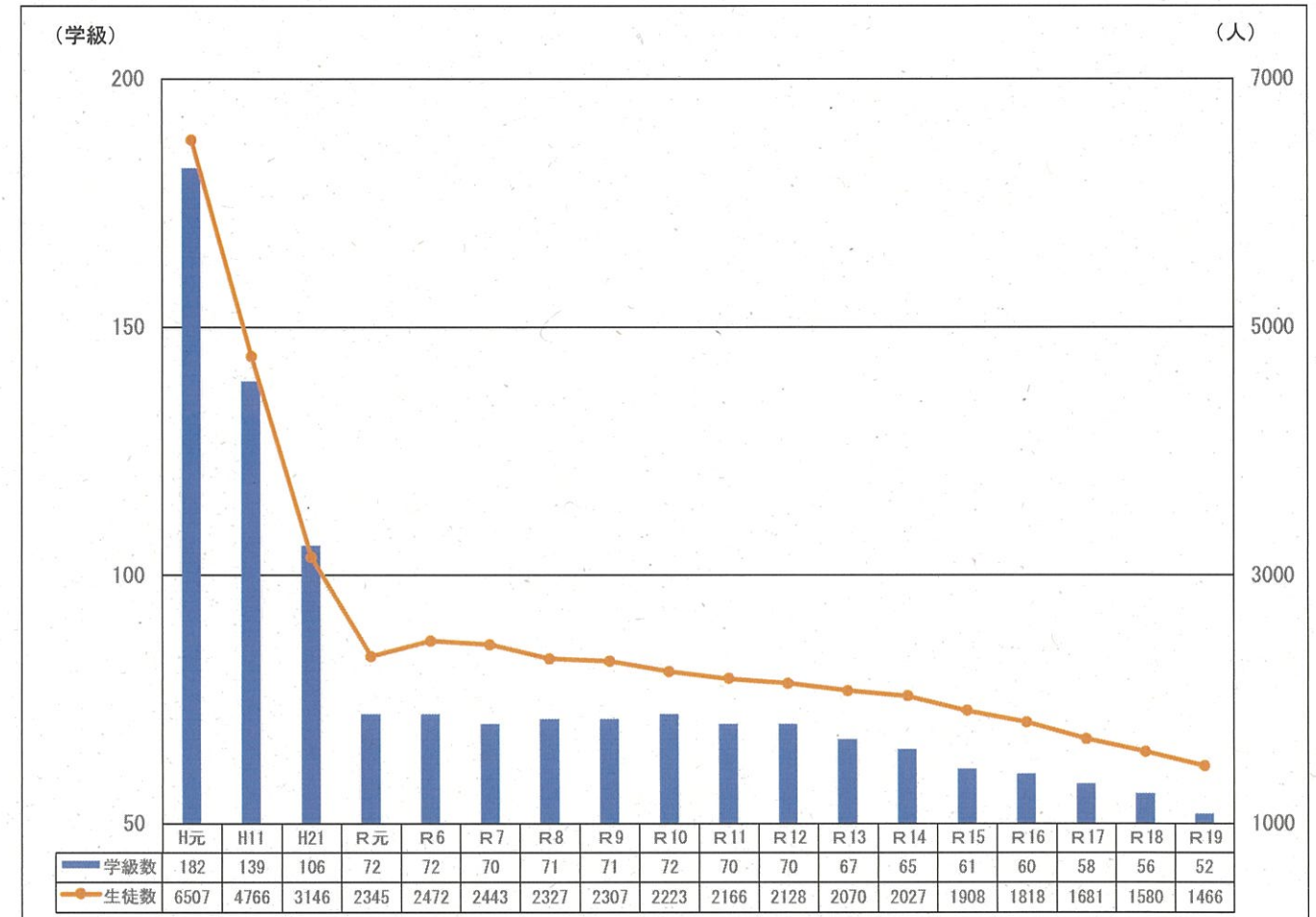
大牟田市立中学校における学級数及び生徒数の推移

編制については、令和7年度までは40人学級、令和8年度は1年生のみ、令和9年度は2年生まで、令和10年度以降は全学年35人

※特別支援学級の設置数は含まない
 ※ほしぞら分校の設置数は含まない
 ※平成元年度から令和7年度までは、それぞれの年度における「5月1日標準学級に関する調査」による実数。
 ※令和8年度以降は、令和7年度「5月1日標準学級に関する調査」による推計。

学校名	年度	年度																																													
		H元	H11	H21	R元	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19																												
1 宅峰	学級数	—	—	—	14	15	15	15	14	13	13	14	14	13	12	12	12	12	11																												
	生徒数	—	—	—	473	537	535	511	464	412	412	424	431	403	361	356	342	350	317																												
船津	学級数	14	10	7	※ 平成27年4月に右京中学校、船津中学校、延命中学校を再編し、宅峰中学校を開校した																																										
	生徒数	463	326	172																																											
右京	学級数	12	8	6																																											
	生徒数	396	254	152																																											
延命	学級数	12	9	8																																											
	生徒数	452	308	237																																											
2 宮原	学級数	—	—	—																	9	9	9	9	9	9	9	8	7	7	7	7	6	5	5												
	生徒数	—	—	—																	280	289	291	288	269	253	239	226	216	210	206	201	174	142	122												
米生	学級数	16	11	7																	※ 平成29年4月に米生中学校と勝立中学校を再編し、宮原中学校を開校した																										
	生徒数	561	382	202																																											
勝立	学級数	12	9	7																																											
	生徒数	419	308	179																																											
3 松原	学級数	15	11	9	6	7	7	6	7	8	8	7	6	6	6	6	5	5	4																												
	生徒数	539	360	263	194	219	215	214	235	229	240	207	200	190	180	168	144	144	125																												
白光・甘木再編校	学級数	—	—	—	—	—	—	—	10	10	9	10	10	10	9	9	9	9	8																												
	生徒数	—	—	—	—	—	—	—	301	298	275	287	291	304	280	265	248	244	227																												
4 白光	学級数	17	12	10	7	8	7	7	※ 令和9年4月に白光中学校(明治校区)と甘木中学校(手鎌校区)を再編し、新校を開校する																																						
	生徒数	621	415	313	228	256	248	218																																							
5 甘木	学級数	18	18	15	8	8	8	9													※ 令和9年4月に御木中学校と白光中学校(白川校区)を再編する ※ 令和9年4月に白銀中学校と甘木中学校(倉永校区)を再編する																										
	生徒数	646	625	448	265	291	282	266																																							
6 御木	学級数	—	—	—	—	—	13	13																									17	18	17	17	16	16	15	14	14	13	13				
	生徒数	—	—	—	—	—	464	446																									575	588	542	541	486	506	492	462	428	372	359				
7 白銀	学級数	—	—	—	—	—	11	12																									14	14	14	14	14	13	12	12	12	12	11				
	生徒数	—	—	—	—	—	408	384																									463	443	458	443	446	414	389	366	345	328	316				
歴木	学級数	27	17	11	7	7	※ 令和7年4月に歴木中学校と田隈中学校(三池、羽山台校区)を再編し、御木中学校を開校した																																								
	生徒数	1,003	573	343	221	237																																									
田隈	学級数	24	21	16	12	12																																									
	生徒数	847	764	535	423	409																																									
橘	学級数	15	13	10	9	6															※ 令和7年4月に橘中学校と田隈中学校(銀水校区)を再編し、白銀中学校を開校した																										
	生徒数	560	451	302	261	234																																									
合計	年度	H元	H11	H21	R元	R6																													R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
	学級数	182	139	106	72	72																													70	71	71	72	70	70	67	65	61	60	58	56	52
	生徒数	6,507	4,766	3,146	2,345	2,472																													2,443	2,327	2,307	2,223	2,166	2,128	2,070	2,027	1,908	1,818	1,681	1,580	1,466

学級数と生徒数の推移



「5月1日標準学級に関する調査」による推計

※各中学校の入学人数は、各中学校区内の小学校卒業生数の合計に、過去3年間の公立中学校への通学率を掛けて算出している。

※学級数が6学級になると、10人の教員配置となる。中学校の学習は10教科であるため、1教科1教員の配置となる。

※学級数が5学級以下になると、10教科に対して10人の教員配置ができなくなる。

※小川町は、令和9年4月に入学する児童から松原中学校区として推計している。

規模別の小学校一覧

令和7年度5月1日
学校基本調査より

※35人学級
※学級数は特別支援学級を除く

天の原	179																		
倉永	169																		
高取	140																		
中友	136																		
平原	131								白川		吉野								
上内	60								291		321								
玉川	53								みなと		三池	手鎌							
									258		313	392							
									駿馬	明治	羽山台	大正	大牟田中央	天領	銀水				
									249	227	272	247	375	394	431				
学級数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
国の基準	過小規模 0校 (1~5学級)			小規模 12校 (6~11学級)						適正規模 7校 (12~18学級) ※統合の場合は12~24学級						大規模 (25~30学級)	過大規模 (31学級以上)		



令和13年度推計①
(R7.5.1時点)

※小川町が天領校区のまま

大正	168																		
天の原	130																		
倉永	123																		
平原	120								白川		大牟田中央								
中友	109								249		338								
上内	15								三池	吉野	手鎌								
玉川	35								242	240	335								
高取	87								みなと	天領	銀水								
									231	224	320								
学級数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
国の基準	過小規模 2校 (1~5学級)		小規模 14校 (6~11学級)						適正規模 3校 (12~18学級) ※統合の場合は12~24学級			大規模 (25~30学級)	過大規模 (31学級以上)						

令和13年度推計②
(R7.5.1時点)

※令和9年度以降、小川町の
新1年生全員が、大正小学校
に入学

天の原	130																		
倉永	123																		
平原	120								白川		大牟田中央								
中友	109								249		338								
上内	15								三池	吉野	手鎌								
玉川	35								242	240	335								
高取	87								みなと	天領	銀水								
									231	240	320								
学級数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
国の基準	過小規模 2校 (1~5学級)		小規模 14校 (6~11学級)						適正規模 3校 (12~18学級) ※統合の場合は12~24学級			大規模 (25~30学級)	過大規模 (31学級以上)						

令和13年度推計③
(R7.5.1時点)

※令和9年度以降、小川町の
新1年生の内、天領小学校
在学中の兄弟がいない児童
が大正小学校に入学

天の原	130																		
倉永	123																		
平原	120								白川		大牟田中央								
中友	109								249		338								
上内	15								三池	吉野	手鎌								
玉川	35								242	240	335								
高取	87								みなと	天領	銀水								
									231	240	320								
学級数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
国の基準	過小規模 2校 (1~5学級)		小規模 14校 (6~11学級)						適正規模 3校 (12~18学級) ※統合の場合は12~24学級			大規模 (25~30学級)	過大規模 (31学級以上)						

上内小学校児童数・学級数の状況と推計(0歳児まで)

(令和7年5月1日現在)

年度	は複式学級編制予定										は複式学級編制		合計	児童数	学級数	備考	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年					
23年度	7	5	11	8	9	11								51	6		
24年度	6	6②	5	11	8	9								45②	5	複式学級1	
25年度	7⑤	6①	7②	6	11①	8								45⑨	5	複式学級1	
26年度	5⑥	8⑥	7①	7④	6①	11①								44⑱	6		
27年度	11②	5⑥	8⑥	7①	7④	6①								44⑳	6		
28年度	8②	11③	5⑤	8⑥	9①	7⑤								48㉒	6		
29年度	3⑥	8②	11②	5⑤	8⑦	7②								42㉔	6		
30年度	7⑤	5⑤	8④	11②	5⑤	7⑨								43⑳	6		
R元年度	2②	6⑥	4⑥	8④	11①	5⑥								36㉕	6		
R2年度	2⑤	2②	7⑥	3⑥	7⑤	11①								32㉖	6		
R3年度	2⑤	3④	2③	7⑦	3⑦	6⑦								23㉚	6	複式学級1 (加配により解消)	
R4年度	2⑨	3⑤	3④	2③	7⑦	3⑦								20㉛	6	複式学級1 (加配により解消)	
R5年度	8③	5⑦	4⑧	3④	3②	7⑥								30⑳	5	複式学級1	
R6年度	1⑧	8④	4⑧	2⑪	3⑤	3②								21㉟	5	複式学級1	
R7年度	2⑤	1⑧	8④	4⑨	2⑩	3④								20⑳	6		
R8年度	2	2⑤	1⑧	8④	4⑨	2⑩								19㉞	5	複式学級1	
R9年度	1	2	2⑤	1⑧	8④	4⑨								18㉟	4	複式学級2	
R10年度	5	1	2	2⑤	1⑧	8④								19⑰	4	複式学級2	
R11年度	3	5	1	2	2⑤	1⑧								14⑬	3	複式学級3	
R12年度	2	3	5	1	2	2⑤								15⑤	3	複式学級3	
R13年度	2	2	3	5	1	2								15	3	複式学級3	

※平成25年度から平成30年度までは、特学1学級設置(1名)。

複式学級

①隣接する学年の合計児童数が16名以下の場合には、複式学級となる。(ただし、1年生を含む場合は、8名以下)

②複式学級を編制する場合は、1年生から順に隣接する学年での組み合わせを行う。

※令和3・4年度は、2・3年生で複式学級の対象となったが、複式解消加配(激変緩和措置)により解消。

玉川小学校児童数・学級数の状況と推計(0歳児まで)

(令和7年5月1日現在)

は複式学級編制予定 () 数字は特学外数 ○ 数字は特認校児童(外数)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数	合計	学級数	備考
1 R3年度	8	7	10	10	13(2)	10	58(2)	58(2)	6(1)	
2 R4年度	9(1)	8	7	10	10	13(2)	57(3)	57(3)	6(2)	複式学級1 (加配により解消)
3 R5年度	8	8(1)(1)	10	7(1)	10	9(1)	52(3)(1)	55(1)	6(1)	
4 R6年度	9(1)	8	8(1)(1)	10	8(2)	10	53(4)(1)	57(1)	6(1)	
5 R7年度	5	9(1)	8(1)	7(1)(1)	10	7(3)	46(6)(1)	52(1)	6(1)	
6 R8年度	5	5	9(1)	8(1)	7(1)(1)	10	44(3)(1)	47(1)	5(1)	複式学級1
7 R9年度	7	5	5	9(1)	8(1)	7(1)(1)	41(3)(1)	44(1)	5(1)	複式学級1
8 R10年度	6	7	5	5	9(1)	8(1)	40(2)	42(0)	4	複式学級2
9 R11年度	8	6	7	5	5	9(1)	40(1)	41(0)	4	複式学級2
10 R12年度	5	8	6	7	5	5	36	36(0)	4	複式学級2
11 R13年度	4	5	8	6	7	5	35	35(0)	4	複式学級2

複式学級

①隣接する学年の合計児童数が16名以下の場合、複式学級となる。(ただし、1年生を含む場合は、8名以下)

②複式学級を編制する場合は、1年生から順に隣接する学年での組み合わせを行う。

※令和4年度は、2、3年生で複式学級の対象となったが、複式解消加配(激変緩和措置)により解消。

上内小学校

令和7年度在学者の校区

校区	学年	人数	総計
吉野	1年	3人	10人
	2年	3人	
	3年	1人	
	5年	2人	
	6年	1人	
手鎌	2年	2人	6人
	4年	1人	
	5年	3人	
銀水	2年	1人	5人
	3年	1人	
	4年	1人	
	5年	1人	
	6年	1人	
白川	1年	1人	4人
	2年	1人	
	5年	2人	
羽山台	1年	1人	4人
	4年	2人	
	6年	1人	
天領	3年	1人	3人
	4年	2人	
倉永	3年	1人	2人
	4年	1人	
三池	4年	1人	2人
	5年	1人	
駿馬	3年	1人	2人
	6年	1人	
明治	2年	1人	1人
大正	4年	1人	1人
計		40人	40人

申請理由 (複数回答あり)

申請理由	人数
少人数制度が魅力	22人
兄姉が通っている (いた)	12人
上内小の環境 (自然が豊か)	8人
学校の雰囲気、教育方針	5人
祖父母の家が近い	3人
地域に根ざした独自の取り組み	3人
本人の希望	1人
校区外通学から小規模特認校へ	1人

玉川小学校

令和7年度在学者の校区

校区	学年	人数
大正	2年	1人
天の原	3年	1人
大牟田中央	4年	1人
中友	6年	1人
明治	6年	1人
平原	6年	1人
計		6人

申請理由 (複数回答あり)

申請理由	人数
少人数制度が魅力	4人
祖父母の家が近い	3人
先生と児童の関係が良い	2人
校区外通学から小規模特認校へ	1人